

例 3. 原点 $(0, 0)$ を中心とする半径 1 の円弧で、端点が $(1, 0)$, $(\cos s, \sin s)$ $(-\pi \leq s \leq \pi)$ であるものは、ベジエ点 $\mathbf{b}_0 = (1, 0)$,

$\mathbf{b}_1 = (1, \tan \frac{s}{2})$, $\mathbf{b}_2 = (\cos s, \sin s)$ と重み

$w_0 = 1$, $w_1 = \cos \frac{s}{2}$, $w_2 = 1$ であらわされる。

実際,

$$x(t) = \frac{(1-t)^2 + 2t(1-t) \cos \frac{s}{2} + t^2 \cos s}{(1-t)^2 + 2t(1-t) \cos \frac{s}{2} + t^2},$$

$$y(t) = \frac{2t(1-t) \sin \frac{s}{2} + t^2 \sin s}{(1-t)^2 + 2t(1-t) \cos \frac{s}{2} + t^2}$$

と表される。 $s = \pi$ のとき, $w_1 = 0$ となり, 図 8 b

のようになる。

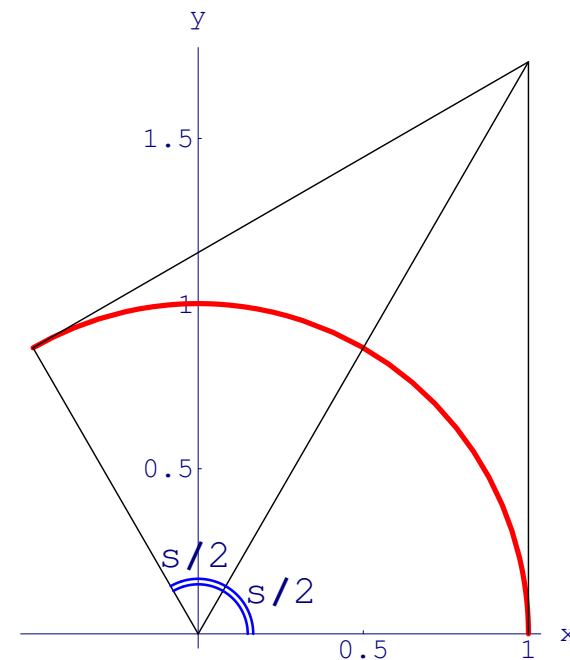


図 8a

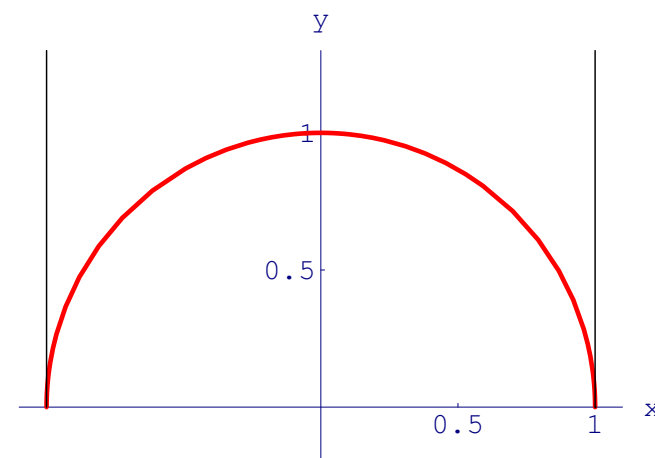


図 8b

例 4. 端点が $(1, 0)$, (p, q) である双曲線 $x^2 - y^2 = 1$ は, $p = \cosh s, q = \sinh s$ とするとき, ベジエ点 $\mathbf{b}_0 = (1, 0)$, $\mathbf{b}_1 = (1, \tanh \frac{s}{2})$, $\mathbf{b}_2 = (\cosh s, \sinh s)$ と重み $w_0 = 1, w_1 = \cosh \frac{s}{2}, w_2 = 1$ であらわされる. 実際,

$$x(t) = \frac{(1-t)^2 + 2t(1-t) \cosh \frac{s}{2} + t^2 \cosh s}{(1-t)^2 + 2t(1-t) \cosh \frac{s}{2} + t^2},$$

$$y(t) = \frac{2t(1-t) \sinh \frac{s}{2} + t^2 \sinh s}{(1-t)^2 + 2t(1-t) \cosh \frac{s}{2} + t^2}$$

と表される. $\tanh \frac{s}{2} = \frac{p-1}{q}$, $\cosh \frac{s}{2} = \sqrt{\frac{p+1}{2}}$, $\sinh \frac{s}{2} = \sqrt{\frac{p-1}{2}}$ であることに注意せよ.

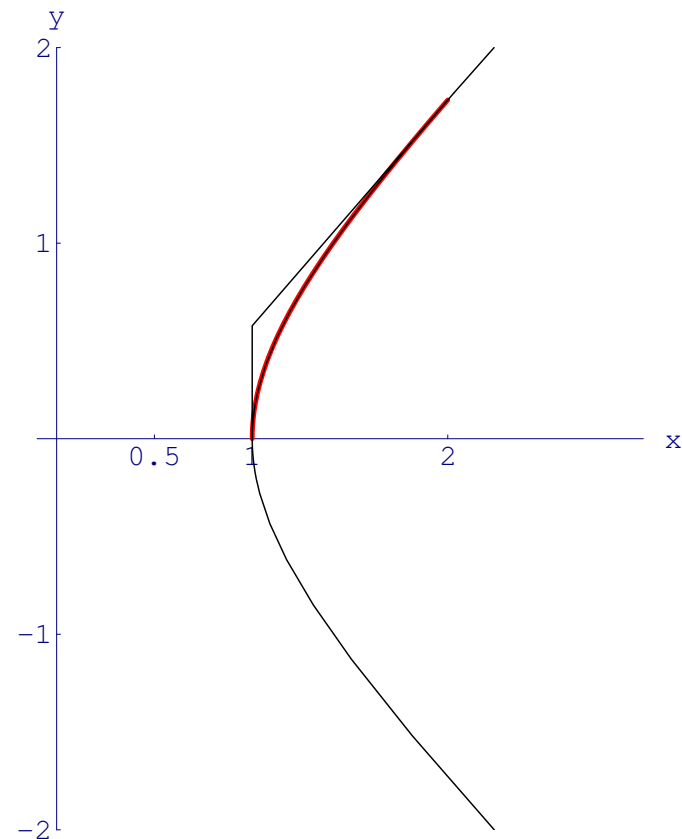


図 9

例 5. 端点が $(1, 0)$, $(p^2 + 1, p)$ である方物線 $x = y^2 + 1$ は, ベジエ点 $b_0 = (1, 0)$, $b_1 = (1, \frac{p}{2})$, $b_2 = (p^2 + 1, p)$ であらわされる. 実際,

$$\begin{aligned} x(t) &= (1-t)^2 + 2t(1-t) + t^2(p^2 + 1) \\ &= 1 + p^2 t^2, \\ y(t) &= \frac{p}{2} 2t(1-t) + t^2 p = pt \end{aligned}$$

と表される.

平面上の 2 次曲線は方程式

$$ax^2 + 2bxy + cy^2 + 2dx + 2ey + f = 0 \quad (11)$$

であらわされる. $D = b^2 - ac$ とおく.

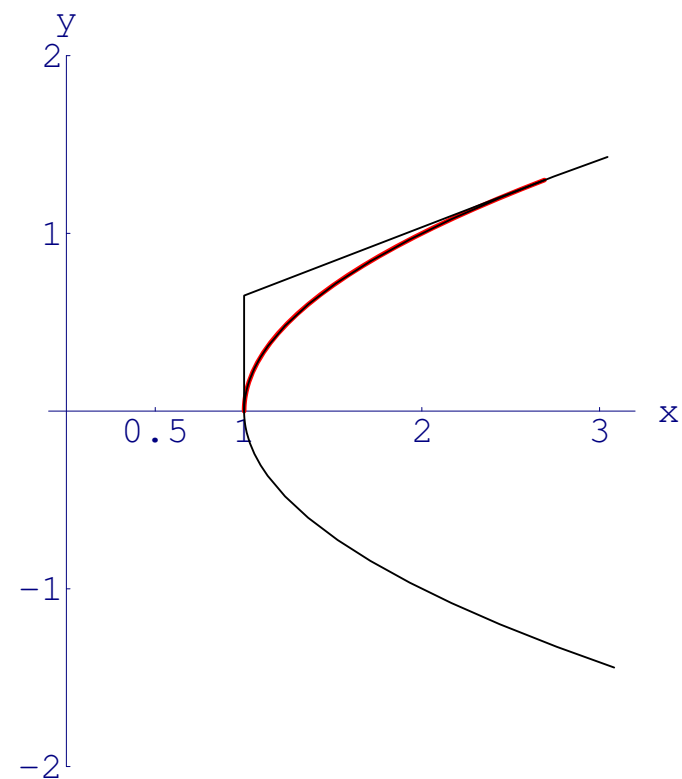


図 10

曲線が2直線でないとき，次が成り立つ：

- 1) $D < 0$ のとき，2次曲線は楕円である.
- 2) $D > 0$ のとき，2次曲線は双曲線である.
- 3) $D = 0$ のとき，2次曲線は放物線である.

例 1) $x^2 - xy + 2y^2 = 1$ は楕円である.

例 2) $x^2 - 4xy + 2y^2 = 1$ は双曲線である.

例 3) $x^2 - 4xy + 4y^2 + x = 2$ は放物線である.

方程式 (11) が2直線をあらわす判定条件を求めておこう. (11) 式の
左辺 $\times a =$

$$(ax + by + d)^2 - ((b^2 - ac)y^2 + 2(bd - ae)y + (d^2 - af)) = 0$$

$A = b^2 - ac$, $B = 2(bd - ae)$, $C = d^2 - af$ とおくと,

$$(ax + by + d)^2 - (Ay^2 + By + C) = 0$$

これが2直線をあらわすための条件は $Ay^2 + By + C$ が完全平方式となることである。従って, $B^2 - 4AC = 0$ が条件となる。すなわち,

$$B^2 - 4AC = 4(bd - ae)^2 - 4(b^2 - ac)(d^2 - af) = 0$$

$-4a$ で割って, 条件は

$$\Delta = \begin{vmatrix} a & b & d \\ b & c & e \\ d & e & f \end{vmatrix} = 0$$

と書くことができる。

有理ベジエ曲線

円錐曲線と同様に，空間 \mathbb{R}^2 の $n + 1$ 個の点 b_0, b_1, \dots, b_n と正の実数 w_0, \dots, w_n を与えるとき，有理ベジエ曲線 $x(t)$ を

$$x(t) = \frac{w_0 b_0 B_0^n(t) + \dots + w_n b_n B_n^n(t)}{w_0 B_0^n(t) + \dots + w_n B_n^n(t)} \quad (12)$$

で定義する。

w_i を**重み**， b_i ($i = 0, 1, \dots, n$) を**ベジエ点**あるいは**制御点**， b_i ($i = 0, 1, \dots, n$) で生成される多面体を**制御多角形**とよぶ。

すべての重みが等しいならば，有理ベジエ曲線 $x(t)$ はベジエ曲線となる。

また，有理ベジエ曲線はベジエ曲線と同様の性質，すなわち，アフィン不変性，凸包性，端点一致，対称性をもつ。

例 1. デカルトの葉線は $x^3 - 3xy + y^3 = 0$ で定義される曲線である。

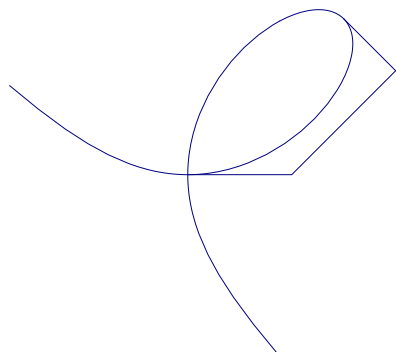


図 11a

これは、次のような制御点と重みによる有理ベジエ曲線である。 $b_0 = (0, 0)$, $b_1 = (1, 0)$, $b_2 = (2, 1)$, $b_3 = (3/2, 3/2)$ とし、それぞれの重みを $w_0 = 1$, $w_1 = 1$, $w_2 = 1$, $w_3 = 2$ とすると、
 $x(t) = (3t/(1 + t^3), 3t^2/(1 + t^3))$ となる (図 11a)。

例 2. アストロイドは $x^{2/3} + y^{2/3} = 1$ で定義される曲線である。

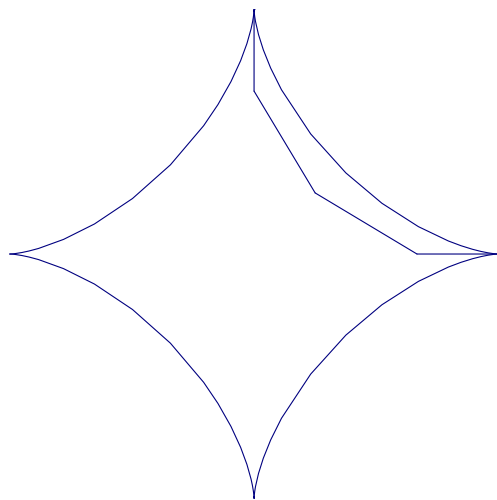


図 11b

これは、次のような制御点と重みによる有理ベジエ曲線である。 $b_0 = (0, 1)$, $b_1 = (0, 1)$, $b_2 = (0, 2/3)$, $b_3 = (1/4, 1/4)$, $b_4 = (2/3, 0)$, $b_5 = (1, 0)$, $b_6 = (1, 0)$ とし、それぞれの重みを $w_0 = 1$, $w_1 = 1$, $w_2 = 6/5$, $w_3 = 8/5$, $w_4 = 12/5$, $w_5 = 4$, $w_6 = 8$ とすると、
 $x(t) = (8t^3/(1 + t^2)^3, (1 - t^2)^3/(1 + t^2)^3)$ となる (図 11b)。

例 3.

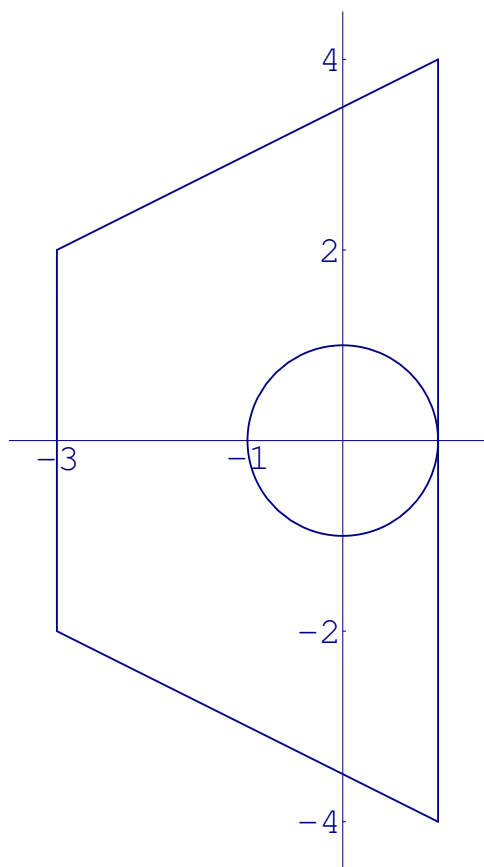


図 11c

制御点と重みを $\mathbf{b}_0 = (1, 0)$, $\mathbf{b}_1 = (1, -4)$,
 $\mathbf{b}_2 = (-3, -2)$, $\mathbf{b}_3 = (-3, 2)$, $\mathbf{b}_4 = (1, 4)$,
 $\mathbf{b}_5 = (1, 0)$, $w_0 = 1$, $w_1 = 1/5$, $w_2 = 1/5$,
 $w_3 = 1/5$, $w_4 = 1/5$, $w_5 = 1$ で与えると, 有理ベジ
 エ曲線は $\mathbf{x}(t) =$

$$\left(\frac{-(2t^2 - 4t + 1)(2t^2 - 1)}{(1 + 2t^2 - 2t)^2}, \frac{4(2t - 1)(1 - t)t}{(1 + 2t^2 - 2t)^2} \right)$$

となり, $(0 \leq t \leq 1)$ を動くとき, $\mathbf{x}(t)$ は半径 1 の
 円をあらわす (図 11c).